2026　年度　　授業概要

科目名		理学療法評価学Ⅱ			授業の種類	演習	講師名		
授業回数	30回	時間数	60時間　（2単位）	配当学年・時期	理学療法士科2年			必修・選択	必修

〔授業の目的・ねらい〕

問題解決や改善のため、様々な評価の意義を理解し、方法を身につける。また、それらのデータを分析し考察を行い、患者の状態を総体的に把握する。

〔授業全体の内容の概要〕

主な評価項目の意義と方法を講義と実技を平行して行っていく。

〔講師の実務経験〕

〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕

①評価に必要な知識を取得する。②健常者に正しい方法で評価が実施できる。
③評価の結果を統合し、仮説を立て、解釈する練習を行う。

回数	講義内容
1	オリエンテーション;評価の意義とプロセス
2	問診、収集すべき情報とその意味
3	バイタルサインの評価
4	バイタルサインの評価
5	感覚検査・疼痛
6	感覚検査・疼痛
7	筋トーヌスと反射
8	筋トーヌスと反射
9	筋トーヌスと反射
10	筋トーヌスと反射
11	協調機能検査
12	協調機能検査
13	おさらい
14	第1回　実技確認
15	脳神経検査
16	脳神経検査
17	高次脳機能障害とその診かた
18	高次脳機能障害とその診かた
19	片麻痺の検査
20	片麻痺の検査
21	片麻痺の検査
22	片麻痺の検査
23	整形外科的検査法
24	整形外科的検査法
25	整形外科的検査法
26	整形外科的検査法
27	バランス検査
28	バランス検査
29	おさらい
30	第2回　実技確認
	定期筆記試験

【　準備学習・時間外学習　】

【　使用テキスト　】

書籍名	著者名	出版社
Crosslink　理学療法学テキスト　理学療法評価学	中山　恭秀	MEDICAL VIEW

【　単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）　】

実技テストと筆記試験で評価する。